

五所川原農林高等学校 斗澤 佳浩

海外へ行ってみたい、自分の力を試してみたいと思い応募したこの研修会でしたが、今回この研修会で体験し学んだことは計り知れないと思っています。青森商工会議所の方々、東北エネルギー懇談会の方々、その他この研修会を開催するにあたり関わってくれたの方々にはお礼の言葉を申し上げます。このような貴重な体験を私のような高校生にさせていただき本当にありがとうございました。国内のエネルギー事情研修は二回目となっていました。今回に限っての事だとは思いますがエネルギー事情研修会はもともと海外へ行く予定でしたが、急に国内への変更になりました。その中での見学施設の許可取り、ゼロからの予定の組み直しなどとても大変だったと思います。そのような中での国内エネルギー事情研修会は私にとってとても貴重な経験となりました。本当にありがとうございました。

九日という期間は私にとってはとても短い期間ではありましたが、見学をしてきた施設はすべて素晴らしいものばかりでした。エネルギー開発の専門家の話を聞いたり実際に原子力の発電所を見学する中で私の中の原子力発電のイメージは大きく変わりました。原子力が危ないという事実は変わりませんが、福島原発事故などの過去の事故を教訓に今では事故対策や管理が徹底されていました。海外ではエネルギーについてはきちんと教育されていて自分たちで議論させることもあるそうなので日本でもそのような機会を設けることで原子力に反対する人は少なくなるのではないかと思います。高速増殖炉もんじゅや三菱重工で見てきた ITER は新しいエネルギーの可能性を感じました。実用化される日が早く来てほしいです。ココスマツアーは一番印象に残る体験となりました。自分たちの都市の公害を自分たちで治すなんて普通では考えられないことだと思います。今は実証実験が終わってしまい、データの計測は行っていないそうですが自分たちでできる範囲での節電を行っていたということも知りました。ココスマツアーを通して私が感じたことは、エネルギー開発は確かに重要です。ですが開発そのエネルギーを使うのは私たち人間であるため、私たち人間が節電を心がけることが一番重要だということです。一人一人が節電を心がけることが大切です。自主研修で見てきましたが、太陽光発電、風力発電はこれから日本のエネルギー自給率を上げるためにもっと開発や大規模化が必要だと思います。バイオディーゼル燃料はまだ課題が多いですが利用の幅が広がれば、大きな影響を及ぼすはずだと思います。

スウェーデンとフランスの大使館にも行ってきました。ほんの少しの時間ではありましたが海外の土地へ足を踏み入れることができました。スウェーデン大使館で

はSKB社という会社の事についてお話を聞いてきました。海外では原子力の廃棄物問題への対応が進んでいると思いました。フランス大使館では地球温暖化への対策についてお話を聞いてきました。温室効果ガス削減のための行動・活動を実際に行動に移さなければいけないのは私たちのような若い世代なそうなので今からできることをしていきたいです。

今回の研修では異なる文化に触れることがあまりできませんでしたが、鹿児島での食事の際に鹿児島の方言を少しだけ覚えてきました。フランス大使館ではフランス語での自己紹介を教えてもらいました。たくさんの面白い出来事もありました。沖縄に行った際、ホテルマンの先入観で中国人に間違われたり、ボタンのかけ間違いがあったりなど、毎日色々なことがおこりました。とても楽しい研修会でした。

最後に、私はこの研修会でエネルギーをより身近に感じるようになりました。今まではエネルギーについてなんて考える事はありませんでしたが、この研修会でエネルギーについて知識を深めていくうちにエネルギーについてどんどん考えるようになりました。研修会を終えてからはニュースなどでエネルギーについて報道されていると必ず見るようになりました。この研修会は私にエネルギーについて考えるきっかけを与えてくれました。思考の幅を広げることができ自分を成長させることができたと思っているので良かったです。今回体験をして学んだことをこれからの進路実現、将来につなげていければと思います。今回の研修会でこのような貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。これからエネルギーについてもっと積極的に勉強していきたいです。